

草加八潮消防組合の沿革

平成29年4月1日現在

草加市消防本部		八潮市消防本部	
昭和22年	草加消防団発足	昭和31年10月	八潮消防団発足
昭和23年	常備消防設置（消防団本部）		条例定数340名 実員数322名
昭和36年	草加市消防本部・消防署設置	昭和45年 4月	八潮町消防本部設置
昭和43年	西分署開設		条例定数40名 実員数15名
	消防庁舎完成 条例定数82名 実員数71名		昭和45年 5月
昭和54年	青柳分署開設	昭和47年 1月	市制施行（八潮市）
平成11年	北分署開設	昭和54年10月	大瀬出張所開設
平成23年	西分署新庁舎完成	平成21年 7月	八潮市消防本部・署新庁舎完成
平成24年	谷塚ステーション開設	平成24年 3月	大瀬出張所閉所（本署統合）
平成25年 4月	草加市及び八潮市消防広域化協議会設置 （会長 田中和明 草加市長 副会長 多田重美 八潮市長）		
	埼玉県知事から消防広域化重点地域に指定される。		
平成27年 1月	草加市・八潮市広域消防運営計画策定		
平成27年 3月	両市議会において消防の広域化の議決・消防広域化調印式		
平成27年 4月	埼玉県知事から草加八潮消防組合設立許可書が交付される。		
消防広域化			
草加八潮消防組合			
平成27年10月	草加八潮消防組合設立 管理者 田中和明 草加市長、副管理者 大山忍 八潮市長 以下執行部 職員17名（両市との併任）で消防事務以外の業務を開始 デジタル無線運用開始		
	平成28年 2月	第1回組合議会定例会を開催。消防広域化に必要な全53件の議案が議決	
平成28年 3月	草加市消防本部・八潮市消防本部において閉庁式が行われる。		
平成28年 4月	草加八潮消防局発足 消防事務の共同処理を開始		
	条例定数331名 実員数328名		
	初代消防局長に浅井厚紀、消防局理事に安藤一明が就任 草加八潮消防組合発足記念式典を開催（八潮メセナ 来場者225名）		
平成28年 8月	第45回全国消防救助技術大会（愛媛県松山市）に出場		
	陸上の部 ロープ応用登はん 1チーム 水上の部 複合検索1名 溺者搬送 1チーム		
平成28年11月	高規格救急車を更新（救急草加2号車）		
平成29年 2月	救助工作車 型の導入（八潮消防署配備の 型の更新）		
平成29年 4月	予防課を八潮消防署庁舎へ移転		
	条例定数331名 実員数331名		
	高度救助隊を発足し、14名の隊員を八潮消防署に配属		